

〈ホームページ用〉



報道関係の方へ

本展に関して、新聞、広報誌、テレビ等にて掲載・放送するにあたり、下記の「記者発表資料」をご覧ください、「資料請求書」の提出をお願いいたします。

(※下部に記者発表資料 (PDF) と資料請求書 (Word) のデータを添付します。)

企画展

「童謡と大正ロマン」

大正期は子供独特の感性「童心^{どうしん}」が注目された時期でした。このような風潮は都市部のサラリーマン家庭などでひろまり、芸術性の高い児童雑誌が多く刊行されました。

本展では、童謡^{どうよう}を中心に大正期の児童文化を紹介します。主に取り上げる雑誌『赤い鳥』は、大正7年(1918)の発刊から、童謡を中心とした大正期の児童文化をけん引しました。また、同時期に刊行された『青い鳥楽譜』は、播磨・高砂^{たかさご}出身の作曲家・佐々木すぐるが自費出版していたもので、表紙画には淡路島生まれの童画家^{どうが}・岡本帰一^{かきいち}らが携わっています。

大正期の芸術的な雑誌の表紙などをご覧くださいながら、大正ロマンの魅力を存分にご堪能ください！

展覧会のみどころ

◆雑誌『赤い鳥』をはじめとした同時期を象徴するような各紙の表紙絵を展示！

小説家、童話作家として知られる鈴木三重吉^{すずきみえきち}が創刊し、同時期における児童文学運動をけん引した『赤い鳥』創刊号をはじめ、『童話』・『金の船』・『おとぎの世界』などの追随した雑誌の表紙絵などがご覧いただけます。なかには、レコードにもデザインが施されているものもあります。

また、当時の女学生に人気のあった『セノオ楽譜』には、あの竹久夢二^{たけひさゆめじ}の作品も登場します！

◆高砂出身の作曲家・佐々木すぐるが自費出版していた『青い鳥楽譜』がずらり！

モダンなデザインで定評のある童画家・武井武雄^{たけいたけお}などが描いた『青い鳥楽譜』の表紙絵のうち約 100 点を一挙公開（一部パネル展示あり）。なかには淡路・洲本^{すもと}出身の童画家・岡本帰一^{きいち}の作品もみられます。これほどにも『青い鳥楽譜』が一同にそろうのは初めてです！

◆当時の童謡を聞くことのできるコーナーも設置！

本展に合わせて、国立国会図書館が配信する古いレコード音源を当館でも聞くことができるようになりました。一部は展示室内のタブレットからも聞くことができます。

※出品件数：合計約 220 件（予定）

開催概要

会期	令和 7 年（2025）10 月 4 日（土）～11 月 24 日（月・振休） 45 日間		
開館時間	10:00～17:00（入館は 16:30 まで）		
休館日	月曜日 ※ ただし 10 月 13 日（月・祝）・11 月 3 日（月・祝）、11 月 24 日（月・振休）は開館（翌平日が休館）		
会場	兵庫県立歴史博物館 特別展示室 〒670-0012 兵庫県姫路市本町 68 電話：079-288-9011 FAX：079-288-9013		
主催	兵庫県立歴史博物館 神戸新聞社		
後援	兵庫県 兵庫県教育委員会 姫路市 姫路市教育委員会 高砂市 高砂市教育委員会 たつの市 たつの市教育委員会 NHK 神戸放送局 サンテレビジョン ラジオ関西		
広報協力	山陽電気鉄道株式会社、神姫バス株式会社		
協賛	公益財団法人日本教育公務員弘済会兵庫支部		

観覧料金	個人	団体	※団体は 20 名以上 ※障がい者 1 人につき、介護者 1 人は無料
大人	700 円	550 円	
大学生	550 円	400 円	
70 歳以上	350 円	250 円	
障がい者	150 円	100 円	
高校生以下	無料	無料	

展覧会の構成とおもな展示資料

序章 大正7年の子どもの世界

童謡を生み出した児童文芸雑誌『赤い鳥』が創刊された1918年（大正7年）時点の児童文化を紹介します。

第1章 『赤い鳥』と童謡運動

『赤い鳥』などの児童文芸雑誌で、古くから使われていた「童謡」という言葉に新たな意味が吹き込まれ、展開していく様子をみていきます。

第2章 ひろがる童謡

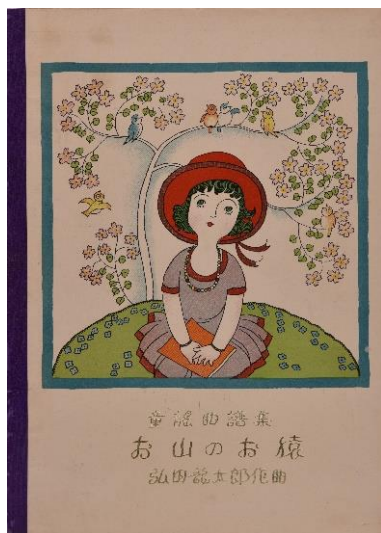
児童文化の枠を超えて一大文化芸術運動となった童謡が多様化していく流れを紹介します。



▲『赤い鳥』1(1) 清水良雄表紙画

1918年（大正7）

大阪府立中央図書館国際児童文学館蔵



▲『童謡曲譜集 お山のお猿』

鹿島鳴秋作詞 弘田龍太郎作曲

本田庄太郎表紙画 1929年（昭和4）

兵庫県立歴史博物館蔵（入江コレクション）

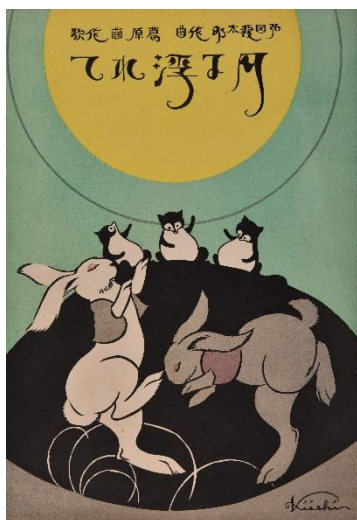
▼『「赤い鳥」童謡』1 「雨」 北原白秋詞 清水良雄挿絵

1919年（大正8） 兵庫県立歴史博物館蔵（入江コレクション）



第3章 楽譜にみる大正ロマン

文学・音楽・美術という3分野の芸術の結晶ともいえる楽譜を多数紹介します。



▲『月に浮れて』
葛原幽作詞 弘田龍太郎作曲
岡本帰一表紙画
1924年（大正13）
兵庫県立歴史博物館蔵
（入江コレクション）



▲『金の星童謡曲譜』6 「子守唄」
野口雨情作詞 本居長世作曲
竹久夢二表紙画
1924年（大正13）
兵庫県立歴史博物館蔵
（入江コレクション）



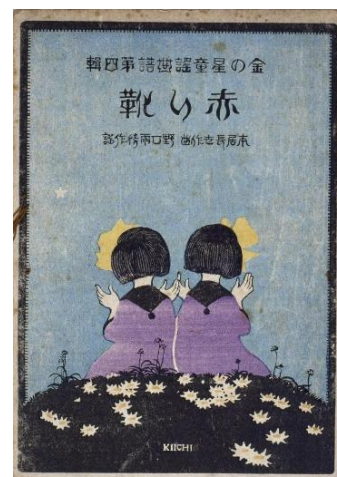
▲『青い鳥楽譜』23 「土舟木舟／ふくろう」 池谷三郎／富原義徳作詞 佐々木すぐる／宮原禎次作曲 岡本帰一表紙画 1925年（大正14） 兵庫県立歴史博物館蔵（入江コレクション）

終章 童謡のゆくえ

昭和に入り、時代の渦に吞まれ変化する童謡をみていきます。

特別展示 歌いつがれる童謡

2006年（平成18）「日本の歌百選」で選定された童謡のうち、戦前の約20曲を紹介します。



▶『金の星童謡曲譜』4「赤い靴」
野口雨情作詞 本居長世作曲
岡本帰一表紙画
1924年（大正13）
兵庫県立歴史博物館蔵
（入江コレクション）

関連イベント

【1】講演会

演題 赤とんぼの詩人三木露風
講師 元姫路大学教授 和田典子氏
日時 令和7年10月19日(日) 14:00~15:30
場所 兵庫県立歴史博物館 地階 講堂
定員 80名 参加費無料
申込方法 Webまたは往復はがき(事前申し込み)
申込期間 令和7年9月7日(日)~令和7年9月29日(月)

【2】手話ダンスワークショップ「赤とんぼ」でおどろう！

童謡をテーマとして、手話ダンスのショーとワークショップを、特定非営利活動法人日本パラファンク協会のご協力のもと実施。

第2回全国手話ダンス甲子園決勝大会特別賞受賞のMiracrewを中心とした混成チームが、手話ダンスショーとワークショップのレクチャーを行います。

年齢、性別、障がいの有無に関係なくご参加いただけます。

※手話通訳あり

司会 特定非営利活動法人日本パラファンク協会
出演 Miracrew(ミラクルー) NOVARTS(ノバーツ)、WHITE DAOL(ホワイトドール)
の混成チーム

日時 ①令和7年10月13日(月・祝)、②11月15日(土)(2回実施)
いずれも 14:30~15:30(予定)

場所 兵庫県立歴史博物館 地階 講堂

定員 15名 参加費無料

申込方法 Webまたは往復はがき(事前申し込み)

申込期間 ①令和7年9月2日(火)~令和7年9月23日(火・祝)
②令和7年10月5日(日)~令和7年10月27日(月)

【3】れきはくアカデミー

演題 企画展「童謡と大正ロマン」について

講師 山田加奈子(兵庫県立歴史博物館 学芸員)

日時 令和7年10月26日(日) 14:00~15:30(予定)

場所 兵庫県立歴史博物館 地階 講堂

定員 80名 参加費無料

申込方法 Webまたは往復はがき(事前申し込み)

申込期間 令和7年9月14日(日)~令和7年10月6日(月)

【4】ギャラリートーク

講師 兵庫県立歴史博物館 学芸員

日時 令和7年10月18日(土) 11:00(手話通訳なし)

令和7年11月16日(日) 11:00(手話通訳あり)

場所 兵庫県立歴史博物館 2階 特別展示室

参加費 無料(ただし、企画展観覧券が必要)

申込方法 当日受付(当館2階特別展示室入口に集合)

【5】AR クイズスタンプラリー

日時 令和7年10月4日(土)~11月24日(月・振休) 10:00~17:00・
(休館日を除く)

場所 兵庫県立歴史博物館 2階 特別展示室(本展会場)

参加費 無料（ただし、企画展観覧券が必要）

事前申込 不要

※最新バージョンの Safari (iOS) もしくは Chrome (Android) を使用できるスマートフォンやタブレットが必要です。

※スタンプラリーでの通信費用は参加者のご負担となります。（無料 WI-FI あり）

◆関連行事の申込方法

・当館ホームページまたは往復はがき（宛先「兵庫県立歴史博物館」）

★ 往復はがきにて申し込む場合、次の①～⑥を記入してください。

①参加ご希望のもよおし名、②住所、③名前（ふりがな）、④年齢、⑤電話番号、
⑥友の会会員の方は会員番号

★申込者が定員を超えた場合は抽選とし、結果は申込者全員にお知らせします。

★小学生以下が参加する場合は、保護者同伴とし、保護者の名前も記入してください。

★お申込みにあたっては、お一人ずつ手続きをしてください。往復はがきの場合は、
1 枚につき 1 人でお申込みください。

アクセス

交通

● JR 姫路駅北口、山陽電車山陽姫路駅南の神姫バス姫路駅バスターミナル 7 番、8 番のりばから約 8 分「姫山公園北・博物館前」下車（国立姫路医療センター経由系統）

● 神姫バス姫路駅バスターミナル 6 番のりばから城周辺観光ループバスで約 8 分「博物館前」下車

駐車場

● 博物館には駐車場がありません。有料駐車場 P（姫路市宮城の北、姫山駐車場）をご利用ください。

● 大型バスでご来館の場合は、事前に当館へご連絡ください



お問い合わせ先

兵庫県立歴史博物館

〒670-0012 兵庫県姫路市本町 68 番地

TEL 079-288-9011

FAX 079-288-9013

<https://rekihaku.pref.hyogo.lg.jp/>

担当：学芸課 山田加奈子、吉原大志